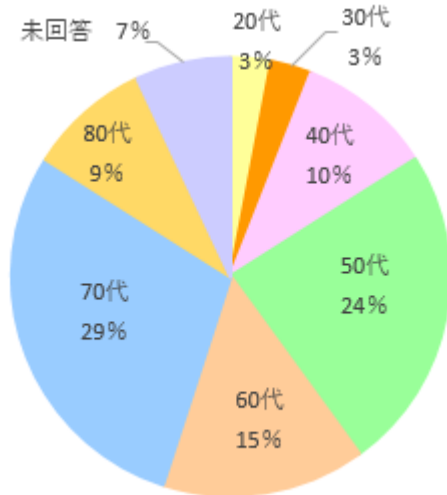
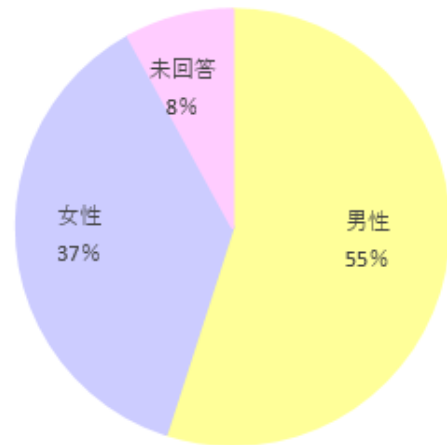


参加者アンケート集計

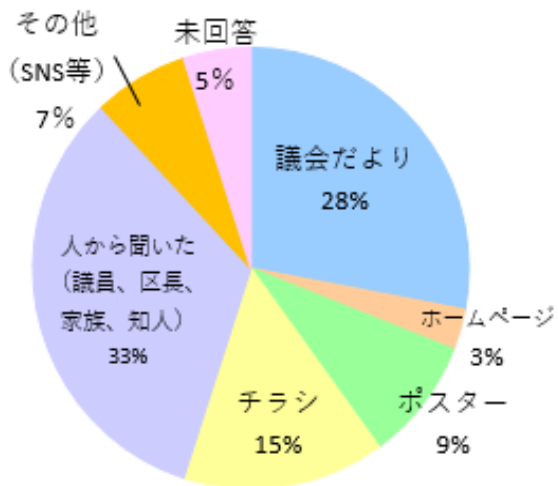
■年齢



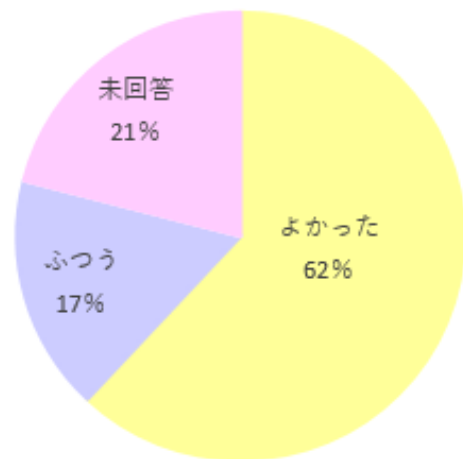
■性別



■今回の対話集会の開催を何で知りましたか。 (複数回答あり)



■対話集会のテーマ・内容はどうでしたか。



令和5年度 市民と議会の対話集会アンケート集計表

担当委員会	総務常任委員会	経済建設常任委員会	厚生環境教育常任委員会
テーマ	市役所のこれからのカタチを考える ～デジタル社会における市民 にとっての利便性と課題～	公共交通について	すべての子どもに 学びの居場所を ～これからの不登校支援の あり方～
人数	17	24	46

■年齢

20歳未満	0	0	0
20代	0	1	2
30代	0	1	1
40代	0	1	8
50代	2	5	13
60代	1	4	8
70代	8	6	10
80代	4	3	1
90代	0	0	0
未回答	2	3	3
合計	17	24	46

■性別

男性	13	18	15
女性	2	2	29
未回答	2	4	2
合計	17	24	46

■今回の「対話集会」の開催を何で知りましたか？（複数回答あり）

議会だより ・広報紙	6	4	17
ホームページ	2	1	0
ポスター	0	3	6
チラシ	0	2	12
人から聞いた (議員、区長、家 族、知人)	4	9	18
その他	3	2	2
未回答	1	3	1

■「対話集会」のテーマ・内容はどうでしたか？

よかった	6	14	34
ふつう	6	5	4
よくなかった	0	0	0
未回答	5	5	8

令和5年度 市民と議会との対話集会アンケート自由記述

■今回の「対話集会」でお気づきの点をご記入ください。

総務常任委員会

- 現状の多治見市の様子を知ることができました。
- 市が行っていることで知らないことがいろいろあり、勉強になった。
- いつもより時間があってよかった。
- 担当議員の司会・進行がよかった。
- 高齢者に対する情報社会の在り方等、諸氏の話に興味を持てた。
- いろいろな意見があり、びっくりした。
- スマホを持っていない方の実態がよく分かりました。
- いろいろな方々と話ができてよかった。
- 高齢者対応 ①スマホ、PCの保有実態調査が必要、②その上で対応教育が必要
- じっくり発言する機会があり、よかった。
- デジタル化ということが何となく理解できた。

- 文句が多かった。
- 初めて参加したが、テーマがいまいち、なぜこれなのかと思った。
- 現状の確認をしてほしいです。
- 実施後の確認も実施してほしい。
- 多治見市の考えていることが伝わっていないことがある。デジタル社会の基礎を作るには時間がかかると思います。
- 時間が少なかった。
- 重かった（難しい）。

経済建設常任委員会

- 市民の生の声が聞けたことがよかった。
- いろいろな考えがあることを知った。
- 市民と行政、事業者の三位一体で進めていくことの重要性を確認できました。
- 優しい人が多かった。
- いろいろな話が聞けてよかった。
- 議員との対話の場があってよかった。
- 具体的な話が出てよかった。
- いろいろな意見が出て参考になった。もう少し参加者がいたらと思う。
- 公共交通は、皆の問題でテーマはよかった。
- あいのりタクシーの話を都市政策課に聞くことにしました。先進事例を教わり、勉強になった。
- 自動運転（バス等）の勉強ができ良かった。
- 市議の方々が本当に真剣に対応されていたのがよかったです。
- 地域による実施方法の違いが分かった。バスが導入されるのが楽しみです。交通手段が自分の足しかない者にとって希望がもてました。
- よく議論できてよかった。

- 司会もさることながら、もう少し話す時間がほしい。いつも一言でと切られてしまう。
- テーマをしばらくすぎではないのか？
- 多治見市は道路の整備が進んでいないように感じる。

厚生環境教育常任委員会

- 年齢がバラバラな方の意見が聞けてよかった。
- 自分が中学校の頃と比べて、学校内の環境がどのように変わったか等も知れたし、自分が住んでいる地域で、子どもの居場所づくりを進めているのが知れてありがたかった。
- いろいろな人のお話が聞けてよかったです。もっと情報の発信をお願いしたいです。
- ワークショップ形式、よかったです。
- 参加されている方の年代が、30代～80代くらいと幅広かった。
- 小中学生が不登校の子どもに対して感じることも知りたい。
- 通学をしている子どもが参加する会があってもよいと思う。
- 継続が必要
- 熱意を持った方が集まり、いろいろな体験談、意見を聞くことができてよかった。
- 実際に地域で取り組まれている方のお話が聞けて、いろいろな気づきがありました。
- 深い知識、体験のある方と話ができてよかったです。
- 不登校であったが、今現在、就職している方の体験談が聞いたことがよかった。
- 問題意識の高い方が集まっていて、具体的な様子を知れてよかったです。
- 当事者、地域の方、様々な方のリアルな声が聞いたこと。このような場を設けていただいてよかったです。
- がんばっている人たちに感謝！
- 多くの異なる意見、賛同する意見が出てよかった。あとは少しずつステップを高める必要がある。
- 参加者が予想したより多かったです。少人数のワークショップ形式は良かったです。
- グループのメンバーが各々の視点で発言され、大変参考になった。
- よかった！大変勉強になりました。スクールカウンセラーの方がグループにいらしたり、自分の子が不登校という方もあり、議論が白熱しました。
- ワークショップ方式はとてもよかった。3色のツール（付箋）も問題が明確化できてよかった。
- いろんな人たちの参加があり、がんばっている姿が見られてよかったです。
- 当事者の言葉を聞いて大変よかった。
- 参加者の方から現状の話が聞いたのが大変よかった。多くの問題があることもわかった。
- 途中参加のため、一概に言えませんが、若い人がいらっしゃって、現状の生徒の感性に近く、とても参考になった。
- ワークショップ形式で発表できなかった意見も残すことができた。
- 熱い方々が集まってとてもよいお話が聞けました。もっとたくさんの方が参加できるといいと思いました。
- 議員さんだけでなく、市民のみなさんの声をたくさん聴けたのがよかった。議員さんの進行がよかった！
- ワークショップ形式を採用されたことによって活発な意見交換ができた。
- 議員の方々がとてもよく聴いてくださいました。今後の行政に期待しています。
- 参加者の方々から、地域が子どもや家庭を支えようとしている思いが伝わりました。
- 議員の方同士の会話から温かさが感じられ、よい雰囲気でした。
- 市が前向きに子どもたちの学びについて取り組んでいることを知り、頑張っていただきたいと思いました。実行してくださいね。
- 23日と今日の2回参加させてもらいましたがとても良かったです。参加したことでつながれる人たちがいて心強かった。毎回対話集会に参加していますが、今回が一番よかった。
- フリースクールの方の話が興味深かった。

- 一人の話す時間を管理した方がいいですね。
- いろいろな意見は出たが、意見を聞いて終わりではなく、よい方向に反映してほしい。
- 対話集会、初めて参加しましたが、意外と時間が短いと感じました。
- 意見をいろいろ聞いたことはよかったが、深く意見を交わすことはできず、中途半端感が残った。
- このテーマの集会を重ねていかないと、問題点を見つけ解決していくことができないと思う。
- 対話時間が短い。
- 若干専門性が高く、もう少し関係者で議論を進めてほしい。
- 正直、時間不足。横のつながりができて先につながらない。
- すべての子どもは、小中学生だけではないので、その点の案内をしてもらいたかった。
- もう少し時間をかけて話し合う。2時間でもよい。
- 広報をもっと市民がじっくり読んで、このような会に参加できる人が増えたらと思う。

■今後、対話集会で取り上げるとしたらどんなテーマがよいですか？

総務常任委員会

- ・人口減少対策
- ・テーマを絞らない市民と議員
- ・交通に関する課題（公共交通に限らない）。特に道路行政（市道に関するところを取り上げてほしい）
- ・知ってほしいことを前向きに知らせてほしい
- ・対面型役所の対応について（高齢化社会に向けて）
- ・議会の広報の在り方
- ・基礎的な勉強会
- ・多治見市の産業力をあげるには、どうしたらよいか？
- ・子どもの件は大事ですが、高齢者の件も取り上げてほしい。
- ・若年層の参加について
- ・市議との対話の場をもっと増やしてほしい

経済建設常任委員会

- ・不登校、教育
- ・公共交通事業者との交流
- ・文教施策・図書館の在り方
- ・社会福祉について
- ・ごみの出し方（きちんと出そう…と気持ちを起こさせる）
- ・新しい道路づくりについて
- ・空家問題
- ・公共交通について
- ・「ライドシェア」について
- ・町内会（自治会）と行政との兼ね合い
- ・交通渋滞解消について

厚生環境教育常任委員会

・教育関連

- ・子どもを中心としたまちづくり。現代に合わせた子どもへの理解、子どもが地元愛を感じる行事、地元で働き、地元で子育てできる環境づくり。
- ・80・50問題について
- ・地域の子どもたちを育てる
- ・定年された、経験豊かな方が子どもと関わる場を作ること。

- ・田畑を持たない市民に農業を広めるには
- ・市民と行政がどのように関わっていくのか？
- ・この問題も継続してほしいですが、環境問題についてもとりあげてほしいです。
- ・同じテーマ、子ども、地域の方の居場所、学び場、家庭
- ・発達障がい児も含めた家庭全員の支援や理解
- ・義務教育後（特に18歳以降）の居場所づくりについて
- ・消滅都市になるのを防ぐために、行政への要望。人口減少を防いで魅力あるまちに
- ・地域の活性化テーマとして、例えば、役員（自治会の）になる方が少ない。高齢化で移動スパーが必要になっている。
- ・多少、体が不自由になっても、地域の中で生活できるようなまちづくりについて。
- ・選挙の投票率の向上ももちろんだが、このような会、特に不登校に悩む当事者が出られるように私たちがPRする必要があると思いました。
- ・報告会をしてほしいです。
- ・高齢者の問題点を出し合い、解決していく方法を考えていく。
- ・議会の中で、何を決めたとか、何が決められてないのかを説明してほしい。
- ・市内での雇用の拡充はどうするのか？
- ・ひきこもりの方の居場所づくり。社会に出ていくためのトライアルの場づくり。
- ・子どもとの対話
- ・子どもの声を聴こう！！